

市長農業のこと話して

令和3年12月号

豊留悦男後援会討議資料

〒891-0402 指宿市十町889番地 0993-24-2112 (FAX) 0993-24-2118

とよどめ悦男市長に農業のことを聞きました。

全国自治体の中で最初に収入保険制度の保険料補助制度を創設。

▲気象状況や災害、社会状況等によって大きく左右される農業経営の安定化支援のため、(収入保険制度導入前に保険料補助を公約に掲げ、) 全国自治体の中で最初に収入保険加入者への保険料補助制度を創設しました。(指宿モデルと言われます。)



▲若者の就農を促進しました。頑張る農業後継者が増えました。

▲農政部門の行政機能を強化。

農産技術課に、(人・農地プラン推進室を設置)

農業技術支援や次世代・後継者育成、人・農地問題に関する専門セクションを開設。気軽に相談や手続きができるよう環境を整備しました。

※県内市町村で農業技術部門、人・農地プランに特化した課を設置しているのは指宿市だけ。新規就農者や後継者育成のサポートチームを編成。認定新規就農者数については、県内上位(近年1~2位)

※技術専門セクション設置により、重要病害虫の侵入・まん延防止対策が迅速化。(被害拡大なし)

▲スマート農業実施が可能になった(令和3年度から)

▲棚田振興法の取組を開始。

新永吉、尾下の棚田、100年先まで原風景を残す。

里道、水源施設、景観保全等事業実施。

地域おこし協力隊の活動充実(棚田を守る。)

▲観葉植物のブランド力向上。

【観葉のまち指宿事業】の実施。ふるさと納税、新たな販路拡大。観光産業との連携強化。



・ トップセールス。指宿食材のPR

～今後どんなことに力を入れるの？

- ◆重要病害虫進入警戒と防除対策(基腐れ病等)
 - ◆スマート農業の導入
 - ◆若い世代を応援する新たな農業政策の導入
- ～今後の課題～
- ◆価格の安定と農業収入の増加。ブランド力強化
 - ◆畑かん事業の促進